

令和2年度 公益財団法人日立地区産業支援センター

事業報告書

公益財団法人 日立地区産業支援センター

令和2年度 事業報告書

内閣府が発表した月例経済報告（令和3年4月）における日本経済の基調判断によると、「景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある」としています。

また、日本銀行水戸事務所が発表した茨城県金融経済概況（令和3年5月）による県内の景気は、「引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直しつつあるとし、先行きについては、新型コロナウイルスの影響が和らいでいけば回復していくとした上で、変異株を含む感染症の動向とその影響を注視していく」としています。

本地域においても、地域中小企業を取り巻く環境は見通しが立たず、厳しい状況が続いていくことが予想されます。

このような中、国においては、雇用の維持、事業の継続を最優先に取り組む観点から、無利子の融資や給付金、納税猶予の特例など事業者の資金繰りや雇用の維持についての支援を様々な手段で進めています。

また、県や市においても、国の取組への上乗せ、横出し支援のほか、独自の経済対策を強力に推し進めているところです。

当財団においても、中小企業を訪問し、新型コロナウイルス感染症が及ぼしている経営活動の影響・脅威のヒアリングを行い、実情の把握に努めるとともに、活用可能な支援施策の紹介等を行いました。また、茨城働き方改革推進支援センターと連携し、帰休等を余儀なくされた事業者を対象とした、雇用調整助成金等に係る個別相談会を開催しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、内容や開催時期の変更、非対面（web会議・webセミナー）での実施等、当初の計画からの変更や実施の制約がある中でしたが、「第2次日立市商工振興計画」に基づき、日立市の交付金事業を実施したほか、戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）、県北地域牽引産業・中核企業創出事業（茨城県）など、国・県等の補助事業や委託事業を活用し、人材育成を始め、競争力の強化、受注開拓、新製品新技術の開発、創業支援など幅広く支援事業に取り組み、多くの中小企業の皆様に参加いただくことができました。

地域の振興には、産業の活性化が不可欠であり、新型コロナウイルス感染症の収束後の地域経済の回復に向けた取組、そして、将来の感染症リスク対策につながるIT化の取組などを進めるとともに、地域経済の持続的な成長の実現に向けて、経済環境の変化、地域の特性、企業のニーズなどを踏まえた様々な産業支援策を効果的かつ効率的に展開してまいります。

【新規】…令和2年度に新たに取り組んだ事業

【総合戦略】…日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略
に示された事業

I. 財団企画事業の計画、実施

1 人材育成に関する事業

(1) ものづくり基礎技術研修

ア 図面の見方研修

図面の役割、幾何公差、溶接記号等図面を見る上で必要な知識を習得する研修を実施し、個人及び企業のレベルアップを図った。

(ア) 開催日及び研修内容等

研修名	開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
機械編	7月1日～3日	17名 (17名)	中小企業実務 アドバイザー 原 孝介 氏	図面の種類、表示方法、記号の意味、読み方、注意点などの解説及び、実際の図面を使用した見方、読み方の指導
	10月21日～23日	11名 (11名)		
製缶・ 溶接編	7月15日～17日	8名 (8名)	中小企業実務 アドバイザー 塚本 孝夫 氏	
	12月2日～4日	7名 (7名)		

※ (4時間/日×3日間 = 12時間)の研修

※ 茨城県独自の緊急事態宣言発令により新型コロナウイルス感染防止のため、機械編は2回、製缶溶接編は1回中止とした。

(イ) 事業の成果及び効果

アンケート結果では大半の受講者から「大変良く理解できた」、「良く理解できた」との回答があった。講師はいずれも実務経験が豊富であり、経験談なども好評であった。



研修風景①



研修風景②

イ 測定器取扱基礎研修

品質の維持及び向上のためには、正しい「評価」が不可欠であり、また、正しい「評価」を行うために、正しい「計測技術」が必要である。本研修は測定工具を扱う実務担当者に正しい測定技術を身に付けてもらうためのもので、実際にノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ハイトゲージなどの測定工具を使って品物を測定し、技術の習得を図った。

(ア) 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
7月21日	19名 (19名)	中小企業実務 アドバイザー 宮田 清美 氏	測定器の種類、用途、測定物の実測

※(4時間/日×1日間 = 4時間)の研修

(イ) 事業の成果及び効果

- a 講師が各受講者を巡回して、測定方法の実務指導をしたことで理解度を高めることができた。
- b アンケート結果では、「大変良く理解できた」と「良く理解できた」を合わせると84%、「ある程度理解できた」が16%であり、好評であった。



研修風景①



研修風景②

(2) 機械加工基礎研修

品質の維持及び向上には、正しい機械操作を習得することが必須である。そのため、マシニングセンタを使用して間もない方、これから使用予定の方等の初心者を対象に、安全教育から基本操作、プログラミングの基礎といった基本的な内容を習得するための研修を実施した。

ア 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
6月15日～19日	2名 (2名)	中小企業実務ア ドバイザー 宮田 清美 氏	マシニングセンタの概要、加工の種類、用途、切削工具の説明
9月7日～9月11日	3名 (3名)		プログラミング、加工手順、切削条件、切削工具の決定、各種機能、指令方法、基本応用動作
11月9日～13日	4名 (4名)		
令和3年 3月15日～19日	3名 (3名)		加工実習を通じた機械操作の安全に関する注意点、加工工程、使用工具の選定

※(6時間/日 × 5日間 = 30時間)の研修

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 講師の指導方法、新しいテキスト等導入したことで、受講者からは非常に好評であった。
- (イ) 実技主体の講座とし、受講者全員が機械操作を実習したことで、受講者の理解度を高めることができた。



研修風景①



研修風景②

(3) 3D-CAD 操作技術研修

ア 部品等基礎

汎用性の高い 3 次元 CAD システム「SOLIDWORKS」の作画に関する基本操作方法を実践的に身に付けるための研修を開催した。

- (ア) 開催日及び研修内容等

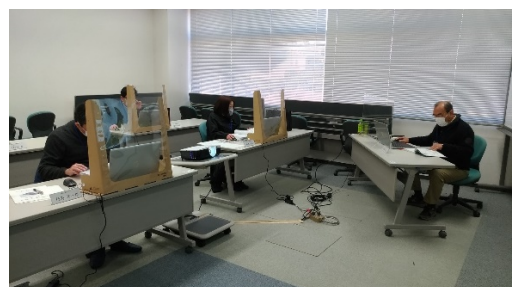
開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
7月8日～10日	6名 (6名)	(株) TEK 長谷山 良典 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ SOLIDWORKS の概要と特徴 ・ SOLIDWORKS 基本操作習得
令和3年 1月20日～22日	3名 (3名)	実務アドバイザー 萩庭 唯久 氏	

- (イ) 事業の成果及び効果

昨年までは、「携帯電話」を題材に研修を行っていたが、スマートフォンの普及に伴い題材の見直しが課題の一つであった。令和2年度は、市販テキストに変更することで理解度の向上を図った。



研修風景①



研修風景②

イ 板金・溶接

汎用性の高い3次元CADシステム「SOLIDWORKS」の、板金・溶接図面に関する作成方法を実践的に身に付けるための研修を実施した。

(ア) 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
10月29日～30日	4名 (4名)	(株) TEK 長谷山 良典氏	SOLIDWORKS 板金講習 ・板金部品のモデリング ・板金のフォームツール SOLIDWORKS 溶接講習 ・溶接の作成 ・鋼材のコーナ、フィレット

(イ) 事業の成果及び効果

SOLIDWORKS は毎年新しいバージョンに更新されており、新機能や便利な使用方法も解説できたため、受講者からの評価も良い。今後も継続して実施していく。

(4) 日立アカデミー日立総合技術研修所公開講座共催事業

(株)日立アカデミー「日立総合技術研修所」((株)日立製作所の社内研修所が平成31年4月に分社化)が地域中小企業に対して講座を公開開催したため、地域中小企業が単独では習得する機会の少ない高度な技術研修や豊富な経験を有する講師陣による初心者にもわかりやすい基礎講座について、活用促進を図った。

ア 研修内容

講座名	研修期間	受講者数
初心者のための電気・電子入門研修	5日間	1名
シーケンスコントローラ活用入門	5日間	1名
トラブルシューティング(制御系基礎)	5日間	1名

イ 事業の成果及び効果

受講者からは、多くの技術を習得することができ、実務に役立つと好評だった。

(5) 若手経営者等人材育成事業

地域中小企業の若手経営者及び後継者が中心となり、社会、経済及び産業構造の変化に対応できる実践力を醸成するため、自主運営及び課題研究解決型の人材育成事業である「ひたち立志塾」を実施した。

ア 実施期間 令和2年6月～令和3年3月

イ 参加者 70名(塾生)

ウ 塾頭 一橋大学 名誉教授 関 満博 氏

エ 実施内容

(ア) 全体会 1回(オンライン)

開催日	参加者	内容
6月18日	塾生16名	各社のコロナウイルスの影響について

(イ) コロナウイルスの影響調査アンケート

調査日	回答者数	内容
6月15日	塾生24名	コロナウイルスの影響 ～自社や業界への影響～
7月15日	塾生8名	コロナウイルスの影響 ～業界の最新情報など～

オ 事業の成果及び効果

- (ア) 塾生の所属企業5社が新たに「地域未来牽引企業」に選定された。
- (イ) 2名の塾生が所属企業の代表取締役となり、円滑な事業承継に寄与することができた。
- (ウ) コロナウイルス感染症の影響により、対面での集会等が制限されたため、オンラインでの全体会やアンケート等を通じ、with コロナ・after コロナの状況について塾生同士で意見交換を行った。

(6) 現場のリーダー研修

(独) 中小企業基盤整備機構の「中小企業大学校サテライト・ゼミ」を活用した研修により、地域ものづくり・サービス産業を担う次世代経営者や職場の管理者のリーダーシップ・コーチングスキル・マネジメントスキル等の習得を図った。

ア 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
7月6日・7日・27日	8名 (6社)	中小企業大学校 東京校 波多野 卓司氏	リーダーの役割とリーダーシップ やる気と能力を引き出す部下の指導・育成(演習含む) 自分らしいリーダーシップを目指して(演習含む)

※ (6時間/日 × 3日間 = 18時間) の研修

イ 事業の成果及び効果

- (ア) アンケートの結果、大半の受講者から「理解できた」との回答があった。
講師は実務経験も豊富であり、経験談なども盛り込んだ 充実した講義となり、好評であった。
- (イ) 受講者からはリーダーとしての心構え、対応力、人間力を学ぶことが出来、非常に有

意義であったと回答があった。



研修風景①



研修風景②

(7) 中小企業魅力体感事業【総合戦略】

日立市の地域特性を活かし、ものづくり産業を中心とする中小企業の技術力及びサービス力等の魅力の発信及び「しごと」体験を実施するとともに、「しごと」の受け皿となる体制を整備することで、「関係人口」の更なる交流と深化を図ることを目的とした「中小企業魅力体感事業」を実施した。

ア 魅力発信に用いる媒体(動画及び冊子等)の作成

(ア) 動画の作成(ホームページ及び日立市公式 Youtube への掲載)

「ひたちらしさ企業 PR 動画」2分版×5社

(イ) 東京圏への掲出ポスター

a 内容

NEXCO 東日本(株)が管轄する高速道路サービスエリア等への冊子の配架及びデジタルサイネージによる動画放映

b 配架放映物及び場所

常磐自動車道(守谷サービスエリア及び友部サービスエリア)

東北自動車道(佐野サービスエリア)

関越自動車道(高坂サービスエリア、三芳パーキングエリア)

c 配架の様子



友部(下り)サービスエリア

イ 中小企業の魅力を発信するイベントの企画及び運営

(ア) 人材確保

開催日	内容等
11/11~13	「インターンシップ合同説明会(オンライン)」参加(茨城大学工学部)

	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者 3名 ・参加企業 3社
--	---

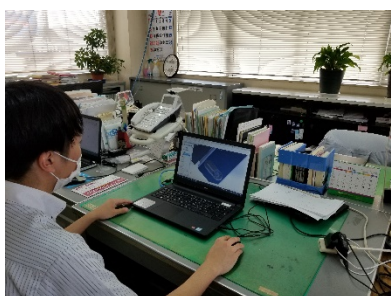
(イ) 大学等訪問

開催日	訪問先等
8/6	茨城県産業技術短期大学校
8/18	茨城キリスト教大学
1月	東京圏の大学(171校+54キャンパス)向け事業案内パンフレット送付

ウ しごと体験に関する業務

インターンシップの企画及び実施

学校	学生数	受入企業数
日本大学生産工学部	3名	3社
茨城大学工学部	19名	13社
茨城県産業技術短期大学校	2名	2社
茨城工業高等専門学校	3名	3社



インターンシップ実施の様子①



インターンシップ実施の様子②

エ 事業の成果及び効果

- (ア) 市内中小企業へのインターンシップに27名の学生が参加。多くの学生に地域の中小企業の魅力を体感してもらうことができた。
- (イ) 企業の紹介動画の作成及びYoutubeへの掲載、高速道路サービスエリア等への冊子の配架等を通じた新たな取り組みを行い、コロナ禍においても日立市の魅力発信に寄与できた。

2 競争力強化に関する事業

(1) 実務アドバイザー派遣・出前研修事業

地域中小企業のものづくりから販売までの様々な課題解決をサポートするため、財団登録実務アドバイザー(専門家)を派遣した。

ア 実務アドバイザー派遣事業

- (ア) アドバイザー登録数 延べ 120 名
 (イ) 派遣企業数 延べ 25 社
 (ウ) 派遣時間 延べ 401 時間 (派遣日数 延べ 141 日間)

実施内容

アドバイザー派遣分類	実施内容	企業数
ホームページ・他 IT	HP 新規作成／リニューアル、EC サイト	11 社
経営支援・競争力強化・拡販	補助金申請、事業計画、拡販資料作成	6 社
生産管理	生産管理構築支援、システム不具合解消	2 社
非破壊検査・教育・設計	資格取得支援、社内教育支援	4 社
KES	認証取得支援	2 社

イ 出前研修

- (ア) 派遣企業数 2 社
 (イ) 派遣時間 延べ 102 時間 (派遣日数 延べ 34 日)
 (ウ) 実施内容

実施内容	企業数
機械加工指導 (縦型旋盤)	1 社
旋盤資格取得指導 (学科・実技)	1 社

ウ ミラサポ専門家派遣の活用

国の専門家派遣制度を活用して、中小企業への専門家派遣の斡旋を行った。

- (ア) 派遣企業数 延べ 4 社
 (イ) 派遣日数 延べ 13 日

(2) 品質・環境関連講座事業

ア ISO 内部監査員養成事業

国際認証 ISO9001 取得後の品質管理システムの維持向上のため、認証を取得している中小企業を対象に内部監査員の養成及びレベルアップのための研修を行った。

- (ア) 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内 容
6 月 8 日～11 日	16 名 (16 名)	中小企業実務 アドバイザー QMS 管理技術者 中西 一雄 氏	内部監査上ポイントとなる規格要求事項の解説
6 月 22 日～25 日	11 名 (11 名)		内部監査の進め方、監査報告書の書き方 演習：不適合指摘、模擬内部監査 等

- (イ) 事業の成果及び効果

- a 受講者 27 名全員が内部監査員養成講座修了証書発行基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たしたので、全員に修了証書を授与した。
- b 座学での分かり易い解説と演習でのグループワークを行った。実践的なアドバイスを頂けたと、参加者から講評であった。

イ 非破壊検査技術者資格取得支援事業

非破壊試験技術者資格試験を受験するための対策講座について、浸透探傷試験(PT レベル 1 及び 2、PD レベル 1 及び 2)、超音波探傷試験(UT レベル 1 及び 2)及び磁気探傷試験(MT レベル 1 及び 2、MY レベル 1 及び 2)の受講を支援した。

- (ア) 受講者数 15 名(16 社)
- (イ) 講習会場 (株)日立製作所日立事業所
- (ウ) 受験者内訳(受講者 15 名のうち 10 名が受験)

	非破壊検査		レベル 1			レベル 2		
			受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)
令和 2年 春期	浸透探傷試験	PT	3	1	33%	0	0	0
		PD	0	0	-	0	0	-
	超音波探傷試験	UT	0	0	-	2	1	50%
	磁気探傷試験	MY	0	0	-	0	0	-
		MT	0	0	-	0	0	-
計			3	1	33%	2	1	50%
令和 2年 秋期	浸透探傷試験	PT	0	0	-	1	0	0%
	超音波探傷試験	UT	2	1	50%	2	0	0%
	磁気探傷試験	MY	0	0	-	0	0	-
		MT	0	0	-	0	0	-
計			2	1	50%	3	0	0%
合計			5	2	40%	5	1	20%

- (エ) 事業の成果及び効果

新型コロナウイルス感染症の影響により、資格試験日が変更となったこと及び、受験会場が都内のため、受講者は減少した。

ウ 品質管理基礎講座

取引先等に対する信頼性の向上及び品質保証体制の強化を図るため、不良再発防止に重点を置いた講座を実施した。

(7) 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内 容
3月22日～25日	12名 (11名)	中小企業実務 アドバイザー QMS管理技術者 中西 一雄 氏	不良低減活動の進め方 不良原因を究明する手法 是正処置の進め方、是正処置 演習 等

(イ) 事業の成果及び効果

- a 受講者12名中11名が、内部監査員養成講座修了証書発行基準(理解度確認テスト70点以上かつ出席時間3/4以上)を満たしたため、修了証書を授与した。
- b 受講後のアンケート調査の「有効度評価」において回答のあった11名全員から「1.とても有効だった」との評価を得た。

エ 統計的品質管理入門講座

品質管理の関係者を対象に「QC七つ道具」をベースにした統計的品質管理の初歩的手法を学ぶ講座を開催した。

(7) 開催日及び研修内容等

開催日	受講者数 (修了者数)	講師	内容
12月7日～10日	3名 (3名)	中小企業実務 アドバイザー 松本 宏 氏	データのとり方、まとめ方 母集団とサンプリング、グラフ の種類と適用 正規分布、管理図、工程能力指数 等

(イ) 事業の成果及び効果

受講者全員にパソコンを持参してもらい、表計算ソフトの統計機能を使った実践的講座として好評であった。

(3) 現場改善塾

現場改善事例セミナーを開催するとともに、参加企業の生産現場に専門家を派遣し、各社ごとの課題の抽出や、改善に向けた活動を支援した。

ア 現場改善事例セミナー

新型コロナウイルス感染拡大により中止

イ 現場改善に精通した専門家によるハンズオン支援(5社41回)

ウ 現場改善塾成果発表会

(a) 開催日 令和3年2月9日

(b) 発表企業及びテーマ

企業名	発表テーマ
(株)ダイニクロ	ムダをなくす
丸善電機工業(株)	利益の出る5S
(株)宮本製作所	① IoT現場を用いた改善 ② 5S活動
吉野電業(株)	足利流5Sによるムダ取り
(株)今橋製作所	儲かる5S

エ 現場改善特別 Web 講演会

期日	テーマ・講師
2月9日	テーマ 「5Sを極める」 講師 サンドビック ツーリング サプライジャパン(株) 代表取締役社長 石原 孝市 氏

(4) 中小企業 IoT 対応支援事業

日立市の委託により、IoT化を積極的に進める中小企業に対し、機器の導入診断やハンズオン支援を実施するとともに、これらIoT化に向けた取組を他の中小企業に事例として紹介するなど、地域への波及を図った。

ア IoTショールームの整備 (IoTショールーム整備補助金)

IoT活用の先進事例として見学可能な工場等を整備する中小企業に対し、設備導入に係る経費の補助を行った。

(ア) 助成企業数 1社

(イ) 助成額 3,804,000円

イ 中小企業のIoT診断の実施及びIoT実験キットによる実習

中小企業のIoT導入による課題の解決及びIoTの導入を図るため、「IoT導入診断・ハンズオン支援」を実施した。

企業名	取組内容	対象設備等
(株)宮本製作所	稼働状況(生産個数及びサイクルタイム)の把握	製造ライン遠隔モニタリングシステム
小松水産(株)	生産管理のシステム化	WEBデータベース型クラウドアプリ
アイガ電子工業(株)	設備及び生産状況のモニタリング	IoTシステムの構築(センサー、タブレット、データベース等)
Tadaima Coffee	コーヒー焙煎機の温度管理の自動化	焙煎データ専用管理ソフト
(株)中村自工深川製作所	生産設備の稼働状況の見える化	工場設備稼働状況可視化ツール

(株)今橋製作所	工具・消耗品管理の見える化	WEB データベース型クラウドアプリ
吉野電業(株)	乾燥機温度のリアルタイム監視及び異常時の警報	データ可視化クラウドサービス
(株)大和電機製作所	モーターの状態を把握できるデータ収集	データ可視化サービス、IoT センサーモジュール、振動、温度センサー

ウ IoT に対する知識や理解を深める機会の提供

開催日	参加者数	内容
7月3日	15名	「WEB 会議体験セミナー」 WEB 会議システムを紹介するとともに、参加者が実際に WEB 会議システムを利用して使い方を体験するセミナーを開催
7月27日	53名	「中小企業 IoT 対応合同セミナー」 IoT や IT を活用した事例や事業を紹介し、IoT に対する理解を深めるとともに、導入等の意識啓発を図るため、茨城県 IoT 推進ラボと連携したセミナーを開催
12月4日	11名	「オンライン工場見学」 IoT を活用した生産現場の改善に取り組む事例を紹介するためのオンライン工場見学会を開催
令和3年 3月9日	44名	「IoT 導入事例報告会」 本事業で実施した支援内容を周知するため、参考となる導入事例やツールを紹介する、IoT 導入事例報告会を開催

エ IT 活用研究会

地域中小企業の経営者、IT 担当者等を対象にした研究会活動により、自社の IT 活用に係る課題解決を目指すとともに、参加企業間の情報交換、情報共有を行い、IT の効率的な活用による企業体質の強化を図った。

(ア) 参加企業 7社

企業名	課題・テーマ
(株)今橋製作所	ツールマガジン監視のシステム化
(株)三友製作所	テレワークを踏まえたセキュリティポリシー及び WEB サイトの見直し
スターエンジニアリング(株)	生産管理システムの構築
(株)中村自工深川製作所	設備稼働生産状況モニタリングシステムの導入
(株)西野精器製作所	工具管理システムの検討
水木木材工業(株)	預かり品管理のシステム化
吉野電業(株)	乾燥炉温度管理の自動化

オ 教育機関等と連携したリカレント教育（再教育）支援

日本技術士会茨城県支部及び茨城県 IoT 推進ラボと連携し、地域の事業所等に勤める技術者へのリカレント教育として、IoT システム構築ツールに関する特別講座を実施した。

(ア) 開催日時 令和3年2月18日（木）14:00～16:30

(イ) 受講者数 19名

(ウ) 内容

- a IoT アプリ開発ツール「Node-RED」ご紹介（日立製作所 サービス&プラットフォームビジネスユニット）
- b Node-RED による IoT システム構築ハンズオン体験（日本技術士会茨城県支部 IoT 推進支援プロジェクト）

(5) 県北地域牽引産業・中核企業創出事業【新規】

茨城県の委託により、技術開発や共同研究に積極的な県北地域の中小企業に対して、研究開発人材の確保を図るため、大学との技術開発・共同研究や中小企業と大学の研究開発人材との交流等を促進するとともに相互の連携環境の構築を図った。

ア 産学官連携研究開発補助事業

県北地域の中小企業者が行う、大学等と連携した研究開発等の取組に要する経費に対して補助金を交付することにより、県北地域経済を牽引する産業及び中核企業の創出を図る。

(ア) 実施スケジュール

- a 公募 令和2年6月23日～7月31日
- b 採択案件審査会 8月17日・18日・21日
- c 採択案件の進捗フォロー 適宜（2～3回/件）
- d 事業対象期間 交付決定日～令和3年2月26日

(イ) 採択審査会について

本事業は、公募の結果15件の応募があったため、申請者によるプレゼンテーションを実施した。その結果11件（内1件は2社連名）の事業を採択した。

テーマ名		申請企業-共同研究先
カメラを用いたツールマガジン内工具情報の取得		株式会社今橋製作所 茨城工業高等専門学校
内容	マシニングセンタ内部に装着されているツールをオンライン上で確認する Web アプリケーションの開発による加工の自動化等効率向上	
成果	小型撮影機で撮影したツール画像を Web ブラウザ上で確認することに成功した。今後は、現場への導入を予定。	

浸炭およびショットピーニング処理された歯車表面層の微小硬さ分布測定		株式会社カドワキ 茨城大学
内容	歯車の高耐久性につながる表面硬化処理品の表面硬化度を定量化する。	
成果	歯車材 SCM415 の硬さは、焼入れ・焼き戻し熱処理材 Hv1200、表面ショットピーニング (SP) 処理材 Hv1000 の検証を行った。(SP 材の残留応力は圧縮 1200MPa で耐久性が期待できることを確認)	
難加工性軟磁性材料を用いる次世代電動機用ステータコア製造技術の開発		株式会社中村工業所 株式会社日港製作所 茨城大学
内容	電動機の小型・高効率化を目的に低鉄損材鉄アモルファスやパーメンジュール薄板の模擬ステータ加工技術を検討。	
成果	バリの低減、金型寿命評価が課題であるものの、厚さ 25 μ m 板材の打ち抜き加工は可能であることが確認できた。(磁気異方性はみられない。)	
鋳造用熱制御材の発熱量動的計測装置開発		株式会社伊藤鋳造鉄工所 茨城大学
内容	鋳造用熱制御材に実作業時と同等の温度履歴を与えて発熱量を計測する装置を開発する。	
成果	装置の外装、内装、各ユニットを改良した発熱量動的計測装置を開発。鋳造用熱制御材の発熱量は 300cal/g であることを明らかにできた。	
マルテンサイト系ステンレス鋼の熱処理後の硬度変化		株式会社旭製作所 茨城大学
内容	大型構造物の溶接施工品の品質確保を目的に、溶接後の熱処理の効果を定量的に明らかにする。	
成果	熱処理前後の硬度、組織、応力を測定し、溶接後熱処理を 595~700 $^{\circ}$ C で実施すると残留応力 50MPa (圧縮) で製品の変形抑制が可能であることを明らかにした。	
低侵襲向けトランスバース及び手術機器の改良		株式会社エムテック 筑波大学
内容	整形外科術具の試作品の有効性は確認できているが、市場で販売するための競争力のある製品デザインの改良	
成果	事業で試作した脊椎術具は反復した滅菌が可能な構成部品で臨床使用が可能な仕上がりとなった。	
カメラ映像のリアルタイム処理で得られる身体各部の揺らぎ成分を利用した個人認証および内的状態推定の研究		株式会社ヒューマンサポートテクノロジー 茨城大学
内容	身体変異の揺らぎ成分のパターン分析による個人認証、さらには集中度等内的状態を推定するアルゴリズムの開発	

成果	撮影装置（カメラ、マイコン、モニター）で目、鼻などの部位の揺らぎデータを収集し、その位置データから内的状態を考察する可能性を明らかにした。	
エレベーター試験塔を利用した高感度傾斜計測に関する研究		有限会社ジオテック 茨城大学
内容	建物の劣化診断として長期振動傾斜システムと短期振動を測定する加速度計測装置で振動計測データを蓄積。気象データとリンクさせた解析評価を確立する	
成果	傾斜および振動計測装置を開発。エレベーター塔最上部の建物の日周運動が確認できた。	
霧流シミュレーション解析によるノズル開発と塗装ノウハウによるロボット塗装のためのデータベース開発		株式会社ヒバラコーポレーション 茨城大学
内容	熟練者ノウハウと同一品質を可能とする難塗装箇所用ノズルの最適条件をデータベース化することを目指し、ノズルのロボット対応を進める。	
成果	ノズル形状の試作を通してシミュレーションを用いて形状案を作成し、3Dプリンタで確認しながら施策を進めていくというノウハウを蓄えることができた。	
ナイロンコート剥離による金属製シャフトの再利用の検討		株式会社フロンティア 茨城大学
内容	大型自動車のシャフトに粉体塗装された、ナイロンコートを溶剤で剥離し、シャフトの再生利用可否を検討する。	
成果	母材内部の微視組織や硬さは化学処理およびバーナー処理によって変化しない。一方、母材表面に生じた圧縮残留応力はバーナー処理によって解放されるが、化学処理では保持されることが確認された。	
新機能性素材 CFRP 製品量産化計画		株式会社ティエス 茨城大学
内容	CFRP 曲げ加工製品に関する成形性及び破壊モードに関する評価を行い、今後の生産に繋がるデータを取得する。	
成果	CFRP 製品に関し、材料力学/評価試験に関する専門家の見解を得ることで、量産化に向けた知見を得ることができた。	

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 企業の強みを生かした製品の開発要素を大学等研究機関と連携することで、現象の定量化等で物理現象を明らかにできた。
- b 開発にあたっては、学生が研究テーマとして取り組んだことで、学生と企業の積極的な交流が生まれた。
- c 各企業から提出された事業報告書の成果事例を、産業支援センターのホームページ上に公開し情報発信することで、産学官連携の機運醸成を図った。

イ AM 事業研究会事業

新しい価値とカタチをつくるモノづくりの革新技术として注目されている AM 技術 (Additive Manufacturing: 積層造形) を育成することを目的に、三菱パワー(株)日立工場に整備されている AM 関連施設「AM-Zone」を活用して、茨城大学や中小企業と連携した用途開拓、試作品開発などを推進した。

(ア) 「AM-Zone」見学会、AM 事業研究会の設立

a 「AM-Zone」見学会を 4 回開催し、AM 事業に関心のある企業を発掘するとともに、令和 3 年 2 月 17 日付で AM 事業研究会を設立した。

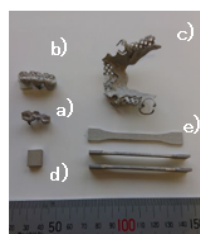
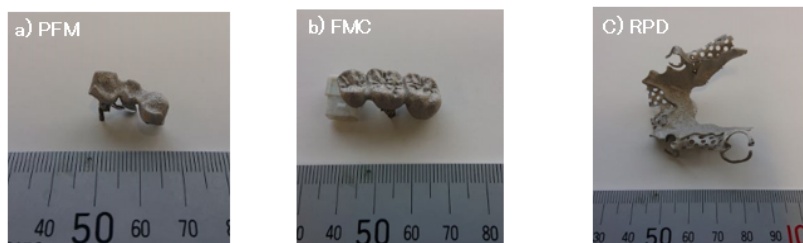
b AM 事業研究会の会員数は中小企業 18 社 (令和 3 年 2 月 17 日現在) である。

表 主な見学会開催日

開催日	対象	受講者数	内容
6 月 29 日	HITS	4 名	装置見学、AM 事業研究会設立の打合せ
9 月 15 日	茨城大学	13 名	装置見学
12 月 9 日	中小企業	18 名	粉末製造装置、AM 造形装置、分析装置等
令和 3 年 2 月 17 日	中小企業	22 名	Web セミナー、AM 事業研究会キックオフ

(イ) AM 造形試作

AM 事業研究会を通じ、造形物として「歯科補綴物」を選定し、下記の 3 種類の歯科補綴物と硬さ、組織、強度等評価サンプルを試作した。



歯科補綴物と評価サンプル (材質: Co-Cr 系合金)

- a) **PFM: Porcelain Fused Metal**
メタルボンドポーセレンのフレーム
- b) **FMC: Full Metal Crown**
一般に言う銀歯
- c) **RPD: Removable Partial Denture**
部分入れ歯とフレーム
- d) 硬さ・組織評価用キューブ 10×12×5 t
- e) 強度評価用サンプル

(ウ) 事業の成果及び効果

a 当センターと三菱パワー(株)との間で「AM-Zone」作業委託条件書による使用契約を締結した。

b 「AM-Zone」の見学会及び AM 事業研究会の公募を通し、AM 事業研究会を 18 社 (下記事業所名) でスタート。なお、オブザーバーとして、茨城大学、茨城県産業技術イノベ

ーションセンター、日立商工会議所に参画頂いた。

- c AM 積層造形のメリットは金型レスによる試作品の短納期、設計自由度、部品の一体化、複雑形状の再現等が挙げられ、製品設計によって、従来あきらめていた形状が作成できる可能性がある。一方、原料となる球状粉末は高コストであり、従来形状ではメリットが少なく、大量生産に向けた課題もある。
- d 事業2年目となる令和3年度は、セミナー（技術動向、メリット・デメリット等）、見学会、造形試作を実施し、AM事業の深耕を図る予定である。

ウ 研究人材確保の支援

大学等と連携し、学生に対する県北地域中小企業の情報や魅力の発信を行うとともに、県北地域中小企業へのインターンシップ等を実施することにより、県北地域中小企業と大学等の人材交流の活性化を支援した。

(ア) 情報デスクの設置（オンライン相談窓口）

新型コロナウイルス感染症の影響により、相談窓口機能を有する情報デスクを設置できなかったため、同様の機能を有するオンライン相談窓口（WEB会議システム）を開催し、インターンシップや企業見学会の情報発信、学生の意見を聞く機会の確保を行った。

- a 実施期間 令和2年9月から令和3年3月（随時開催）
- b 相談件数 16件

(イ) 学生を対象としたインターンシップ説明会の実施

茨城大学工学部生を対象としたインターンシップ合同説明を実施し、中小企業の紹介及びインターンシッププログラムの説明を行うことで、学生のインターンシップ参加意欲の向上を図った。

- a 名称 インターンシップ合同説明会
- b 期間 令和2年11月11日～13日
- c 内容

説明者	内容	参加者(学生)
日立地区産業支援センター	事業説明	2名
(株)新熱工業	インターンシッププログラム紹介	1名
(株)野上技研	インターンシッププログラム紹介	3名
(株)三友製作所	インターンシッププログラム紹介	3名

(ウ) インターンシップの実施

大学等と連携し、学生の県北地域中小企業へのインターンシップ等を斡旋した。

表 令和2年度インターンシップ参加実績

学校名	参加人数	企業数
茨城大学工学部	23名	15社
茨城工業高等専門学校	8名	5社
合計	31名	20社

(エ) 企業向けセミナーの実施

a 日時 令和3年2月10日

b 参加者 27名(21社)

c 内容及び講師

「効果的なインターンシップ受入れ対応について」

講師：MK キャリアラボ代表 菊池美也子 氏

「パネルディスカッション インターンシップ受入事例と課題について」

登壇者：茨城大学工学部キャリア支援室 見田洋子 氏

(株)今橋製作所 今橋正守 氏

スターエンジニアリング(株) 星哲哉 氏

(株)三友製作所 加藤木真紀 氏

(オ) 事業の成果及び効果

茨城大学工学部や茨城工業高等専門学校と連携し、研究開発人材と成り得る人材(学生)に対し、県北地域中小企業へのインターンシップを斡旋した。

(6) 中核企業創出・育成のための伴走型支援促進事業

関東経済産業局の主導する官民合同伴走型支援(プロセスコンサルティング)において、日立市が支援対象地域として選定されたことに伴い、日立市内の企業の課題設定から解決までを支援する取り組みを行った。また、プロセスコンサルティングのスキル・ノウハウを持つセンター職員を育成し、次代の地域経済を牽引する中核企業の創出支援を行うため、国等と連携した研修等を実施した。

ア 実施期間 令和2年4月～令和3年3月(毎月1～2回の企業訪問)

イ 支援企業：地域未来牽引企業7社

ウ 実施内容

(ア) 支援企業

関東経済産業局で組成した官民合同チームと日立市、日立地区産業支援センターで企業を訪問し、経営者や従業員へのインタビューを通して、支援企業の総点検、課題設定および解決支援を行った。

(イ) 支援人材の育成

コンサルティングの現場に立ち会い、伴走型支援(プロセスコンサルティング)の手法について学んだ。また、セミナーや研修を通じて支援フローや実務を学ぶとともに、他自治体とのネットワークも構築した。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

ア 新型コロナウイルス感染症の影響に係る雇用助成金 WEB 説明会

(ア) 開催日及び内容等（日立市公式 Youtube にて配信）

開催日	瞬間最大視聴者数	講師	内容
4月28日	126名	社会保険労務士法人 葵経営 皆川 雅彦 氏	雇用調整助成金の概要 について
5月12日	26名		雇用調整助成金の申請 手続きについて

イ 新型コロナウイルス感染症対策雇用調整助成金等専門家派遣

(ア) 内容

日立市と連携し、雇用調整助成金の申請を検討している中小企業を対象に、社会保険労務士による専門家派遣を行った

(イ) 期間 5月18日～7月31日

(ウ) 派遣回数 85回（40社）

※1社あたり3回まで

ウ 茨城働き方改革推進支援センターとの連携による個別相談会

(ア) 内容

働き方改革関連法の施行や新型コロナウイルス感染症の影響拡大などを背景とした、中小企業における労務管理等に係る課題解決を図るため、働き方改革対応及び雇用調整助成金等の支援窓口として個別相談会を開催した。

(イ) 期間 令和2年7月～令和3年3月（延べ27回開催）

(ウ) 相談件数 8件

3 受注顧客開拓に関する事業

(1) 首都圏受発注促進事業

受発注コーディネーターが首都圏及び日立地域の企業訪問により、発注案件を開拓し、地域中小企業に取引の斡旋を行った。

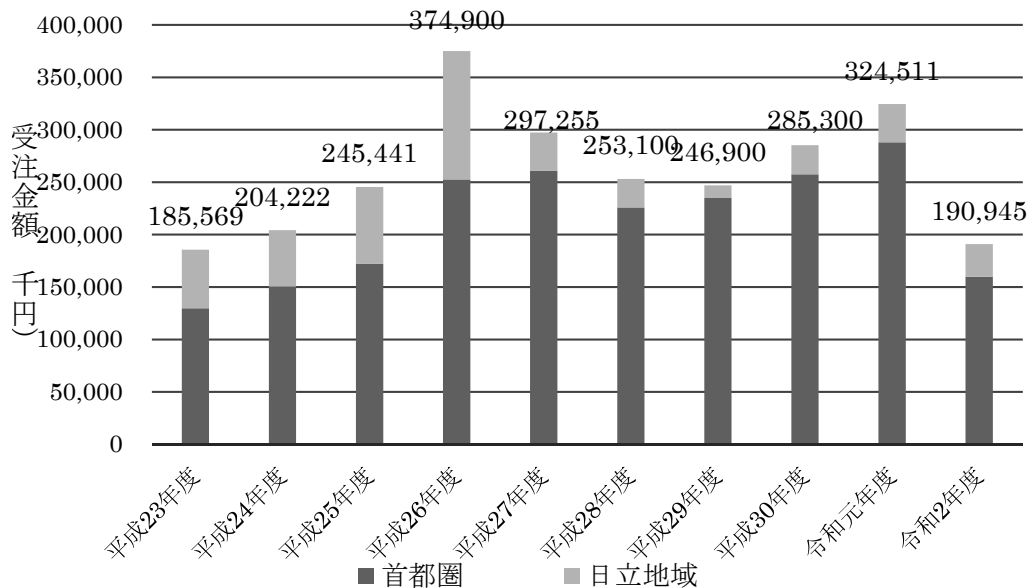
ア 受注件数及び金額（令和3年3月31日現在）

項目	首都圏	日立地域	合計
受注件数	138件	37件	175件
うち新規	8件	10件	18件
受注金額	159,793千円	31,152千円	190,945千円
うち新規	7,480千円	1,538千円	9,018千円

イ 事業の成果及び効果

(ア) 受注金額は前年度の66%と減額した。原因はコロナ禍による引き合い案件の大幅な減少及びコロナ禍により首都圏コーディネーターの企業訪問が制限されたため。

- (イ) 特異な現象としては、コロナ禍でビジネス拡大した大手企業（移動オフィスの提供の仕事）を受けていたE社の受注が174%と拡大した。



(2) 東京サテライトオフィス運営事業【総合戦略】

新規受注開拓及び販路開拓の積極的な事業展開をサポートするため、企業イメージアップ、首都圏での営業活動の効率化を図ろうとする中小企業を対象に、東京都千代田区に常設分割型専用ブースを設置し、営業拠点としての利用を図った。

ア 利用企業数 7社

(ア) 専用ブース及びロッカー利用 3社

(イ) ロッカーのみ利用 4社

イ 事業の成果及び効果

目標達成率 70%(利用目標値10社)

(3) 専門展示会出展事業

ア 高精度・難加工技術展 ONLINE 出展事業

(ア) 出展期間 令和2年10月13日～11月13日

(イ) 主催 日刊工業新聞社

(ウ) 事業内容

a 登録者数 13,350名(同時開催展示会 6展示会合計)

b 出展企業 8社(新規2社)

(エ) 事業の成果及び効果

a 実展示会に替わり、ONLINEでの開催となった。ONLINE上にて地域企業8社と共同ブースを出展した。(総閲覧者数:2,349件、新規受注:3件、見積提出:4件、別途打合:3件)

b YouTubeによるオンデマンドセミナーを5社が実施し、聴講者152名の参加を得た。コンテンツ作成が初体験の企業もあり、今後の販路拡大に貴重な機会を得た。

- c 企業の PR 記事をオンデマンドセミナー開始前日に日刊工業新聞の全国版に投稿し、閲覧者を誘導した。
- d 出展企業からのアンケート結果
 - ・ 閲覧者の登録情報から多くの新規顧客リストを得た。
 - ・ 顧客リストのフォローが大変であり、非対面による営業力を鍛える必要があると感じた。
 - ・ 実展示会と違い、顧客の声が拾いにくく、ONLINE 展示会の難しさを感じた。



図 共同出展ブースの状況



図 個別出展ブースの状況（動画配信）



図 個別出展ブースの状況（パネル閲覧）



図 個別ブース製品説明（最大 16 点）

イ オンライン彩の国ビジネスアリーナ出展事業

- (ア) 出展期間 令和 3 年 1 月 8 日～2 月 8 日
- (イ) 主催 公益財団法人埼玉県産業振興公社
- (ロ) 事業内容
 - a 全体閲覧者数 28,112 名
 - b 出展企業 センターが単独で出展
- (エ) 事業の成果及び効果
 - a 自社サイト閲覧数 104 名
 - b 展示会開催前に顧客誘導として、高精度・難加工 ONLINE でのリスト顧客及び首都圏発注顧客リストへ一斉メールを発信し、来場を促した。
 - c 問合せ数：1 件、名刺交換数：6 件 新規受注案件：無し

ウ 機械要素技術展出展事業及び試作市場出展事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加希望各社の意向を加味し、出展を取りやめた。

(4) 中小企業基盤整備機構のJ-Goodtech登録による新規拡販支援事業

(独) 中小企業基盤整備機構で開設している無料マッチングサイト「J-Goodtech」を活用した販路開拓支援を実施した。

ア 実施期間：令和2年7月中旬～令和3年3月末

イ 実施内容

(ア) 企業プロフィール充実度向上、使用方法の指導による閲覧数増加支援

(イ) 新規登録企業の増加

ウ 事業の成果及び効果

(ア) 新規登録社数 60社

(イ) 閲覧数増加依頼のあった11社のプロフィールを充実させ、全登録企業約35,000社中、閲覧者数上位(20位以内)に入る企業も出てきた。

(ウ) 本支援により、株式会社旭製作所(日立市神峰町)が株式会社タマダ(石川県金沢市)とマッチング成立し、J-Goodtechにて成功事例として取り上げられた。

(5) ドイツ販路開拓支援事業【総合戦略】

日立地区の中小企業を中心とした企業グループとドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク(BW)州の企業群(クラスター)との間でビジネス交流を進め、新規受注の獲得を目指す。

ア 事業期間 令和2年4月～令和3年3月

イ 実施体制

(ア) 交流クラスター BW-i・automotive-bw

(イ) 協力 ジェトロ茨城貿易情報センター、ジェトロミュンヘン事務所

ウ 事業内容

(ア) ドイツセミナー「ドイツにおける新型コロナウイルスと自動車産業の現状及び展望」

a 実施日 令和3年3月16日

b 参加企業 81社(うち県内企業18社)

c 内容(オンラインによるセミナー)

テーマ	スピーカー
ドイツの経済・産業概況(自動車含む)及び新型コロナウイルスの影響	ジェトロミュンヘン 所長 高塚 一 氏
新型コロナウイルス・次世代自動車シフトに対するBW州自動車メーカーの動向	automotive-bw Mr. Dr. Markus Nawroth Ms. Dr. Verena Krauer
ドイツ国内企業の声	・ZIPO Werkzeugbau GmbH CEO Mr. Rainer Ziegerer ・KYOCERA AIS GmbH 副社長 井垣 英治 氏

4 新製品新技術開発に関する事業

(1) 競争的資金獲得支援事業【総合戦略】

個別のテーマに応じた補助金等申請書のブラッシュアップ及び補助金に係る情報提供など、地域中小企業が国等の競争的資金を獲得するための支援を実施した。

ア 補助金申請個別相談

名称	相談件数	採択件数
アルコール消毒液等生産設備導入支援補助事業	1件	0件
サプライチェーン対策のため国内投資促進事業費補助金	1件	0件
生産設備におけるエネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金	1件	1件
働き方改革推進支援助成金	1件	1件
小規模事業者持続化補助金	2件	2件
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	10件	2件
戦略的基盤技術高度化支援事業	2件	2件
いばらきチャレンジ基金	1件	1件
合計	19件	9件

イ 先端設備等導入計画申請に係る個別相談

(ア) 相談件数 2件

(イ) 認定件数 2件

ウ 事業の成果及び効果

19件の相談に対して申請書作成の支援を行い、9件が採択となり、採択率は47.3%であった。

(2) 新たな連携活動推進事業【総合戦略】

工業、農水産業及び商業の事業者等が連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して、新商品開発や販路開拓など、新たな連携を構築することによる新規ビジネスの創出を目指す活動を支援する。

ア 新たな連携活動推進コーディネーターの配置

iiberall (イイベラル) 根本 緑 氏

イ 事業の実績

(ア) 工業、農水産業及び商業の事業者等との連携及び支援

実施主体	内容	活動結果
タクミファーマーズ	イノシシ罨監視センサー実証実験	イノシシ罨見回り効率化の観点から、罨監視センサーを無償貸与し、実証実験を実施した。

農業者他	温湿度センサー実証 実験	iiberall (イイベラル) の新規事業 (気象観測データの収集と分析) の立ち上げを支援した。
------	-----------------	--

(イ) 若手農業者の会 (Re:Agri)

若手農業者らが農作物を持ち寄り、ドライブスルーマルシェを開催した。

a 日立ドライブスルーマルシェ (全9回)

(a) 目的 コロナ禍に配慮しつつ、ドライブスルー形式で地元野菜を購入できる仕組みを構築する。

(b) 場所 日立市役所駐車場

(c) 出店側参加者 6 農家

(d) 販売商品 第1回 旬の野菜 1,000円セット 30セット
2,000円セット 20セット

第2回以降 旬の野菜 2,000円セット 50セット を予約制にて販売



b 定例会 (全10回)

(a) テーマ 日立ドライブスルーマルシェ開催内容等

(d) 主な参加者 4 農家 他

c 相互農場視察 (全2回)

(a)開催日 令和2年8月1日 (1回目)、12月13日 (2回目)

(b)場 所 源ちゃん農園、木の里農園 (1回目)、
柴田農園、樫村ふぁーむ (2回目)

(c) 主な参加者 5 農家他

(ウ) ヒタチマルクトの事前打合せ及び開催

市内事業者間における業種の枠を超えた新たな連携により地場産品のブランド力向上と販路開拓を行うため、ヒタチマルクト実行委員会を立ち上げて、ヒタチマルクト開催を支援した。

a 事前打合せ (全9回)

b ヒタチマルクト開催

(a) 開催日 令和2年11月14日

(b) 場 所 日立市役所大屋根広場

(c) 出展企業 14社 その他桐生市・山辺町の特産物販売会を実施。

(d) 来場者数 685名 (事前予約者 384名、未予約者 301名)



ウ 事業の成果及び効果

- (ア) タクミファーマーズのイノシシ監視センサー実証実験は 2021 年度も継続して支援していく予定。温湿度センサー実証実験は温湿度センサー設置に協力いただける農業者等を探索中。
- (イ) Re:Agri で日立ドライブスルーマルシェを 9 回開催した。茨城新聞、JWAY、Facebook からも周知協力いただき、認知度向上を図った。
- (ウ) 根本緑氏をコーディネーターとして新たに委嘱し、日立市役所大屋根広場にてヒタチマルクトを開催。新型コロナウイルスの影響を受けた地域農業者及び小売業者の支援を行った。

(3) 戦略的基盤技術高度化支援事業

ア 戦略的基盤技術高度化支援事業 (IoT デバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発)

平成 30 年度に国から採択された戦略的基盤技術高度化支援事業 (IoT デバイス故障解析用プラズマ精密深掘り装置の開発) による令和 2 年度事業実施にあたり、事業管理機関として事業の進捗管理及び経費処理管理を実施した。

(ア) 研究実施機関 (間接補助事業者)

(株)三友製作所、(国研) 産業技術総合研究所、茨城県産業技術イノベーションセンター

(イ) 事業期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 30 日

(ウ) 実施内容

a 研究開発推進委員会

開催日	内容	出席者数
7 月 10 日	事業概要説明及び最終年度の進め方確認	18 名
11 月 19 日	① 研究開発の進捗状況確認 ② 川下メーカーからのテクニカルアドバイス	15 名 (Web 3 名含む)
令和 3 年 2 月 24 日	研究開発の最終年度報告と今後の予定	WEB 参加 17 名

b 研究開発経費に関する管理

(a) 最終評価ヒアリング

- (b) 中間検査及び確定検査による進捗状況報告
- (c) 事業完了届、実績報告及び間接補助事業者への額の確定及び支出
- (エ) 事業の成果及び効果
 - a 本年度は3年間の事業計画の最終年度であり、事業期間内に予定どおり研究開発が完了した。
 - b マルチチャンネル分光システム、高周波測定装置及びレーザ干渉式変位センサー、局所プラズマ加工装置用ソフトウェア改造を実施。
 - c 川下ユーザーから、30inch ウエハを切断無しで投入できる特注仕様の要求及び受注見込み案件を得た。
 - d 関東経済産業局の最終評価ヒアリングにて、今後の事業化に対して期待したいとのコメントを得た。
 - e 研究開発に係る経費を補助金交付要綱等に基づき適切に処理した。

イ 戦略的基盤技術高度化支援事業(油圧機能内蔵金型による深絞り成形技術の開発)

平成30年度に国から採択された戦略的基盤技術高度化支援事業（油圧機能内蔵金型による深絞り成形技術の開発）による令和2年度事業実施にあたり、事業管理機関として事業の進捗管理及び経費処理管理を実施した。

- (ア) 研究実施機関（間接補助事業者）
(株)大貫工業所、茨城大学、茨城県産業技術イノベーションセンター
- (イ) 事業期間 令和2年6月1日～令和3年3月31日
- (ウ) 実施内容
 - a 研究開発推進委員会

開催日	内容	出席者数
令和2年7月30日	実施内容と推進計画及び検討項目の進め方確認	11名
令和3年2月26日	研究開発の進捗状況確認（WEB会議）	14名

- b 研究開発経費に関する管理
 - (a) 最終評価ヒアリング
 - (b) 中間検査及び確定検査による進捗状況報告
 - (c) 事業完了届、実績報告及び間接補助事業者への額の確定及び支出
- (エ) 事業の成果及び効果
 - a 本年度は3年間の事業計画の最終年度であり、事業期間内に予定どおり研究開発が完了した。
 - b 関東経済産業局の最終評価ヒアリングにて、今後の事業化に対して期待したいとのコメントを得た。
 - c 研究開発に係る経費を補助金交付要綱等に基づき適切に処理した。

5 経営者の啓発に関する事業

(1) 外国中核人材活用事業

少子化による人材不足の打開策である外国人材活用に関して、茨城県北臨海地域の状況調査（アンケート）を実施。セミナーを2回実施した。

なお、海外視察は新型コロナの影響を受け、中止とした。

(ア) 外国人雇用アンケート

- a 実施期間 令和2年5月11日～8月5日
- b 登録企業（製造業・情報通信業）433社中回答218社。
- c 外国人材採用企業数36社、今後採用を考えている企業20社。
- d 現段階の課題は語学力不足に伴うコミュニケーション能力や技能習得。

(イ) 外国人（採用）受け入れ準備集中研修

主催：茨城県外国人材支援センター

共催：日立地区産業支援センター

- a 開催日時 令和2年9月24日
- b 開催場所 日立地区産業支援センター 第4研修室
- c 参加者 5社11名
- d 講演内容

講演題目	講演者
在留資格と入管法ポイント	特定行政書士 橋本 哲氏
社内体制の整備と定着対策	社会保険労務士 田中 邦明氏
採用方法と採用試験の解説 異文化理解とマネジメント	(株) ワールドディング 池邊 正一郎氏
県北企業の採用実績と事例	(株) 日昌製作所 吉田 智哉氏

(ウ) 高度外国人材活用支援セミナー 育成・定着への考え方と取組事例

主催：JETRO、日立地区産業支援センター

- a 開催日時 令和3年3月2日
- b 開催場所 ONLINE（ZOOM ウェビナー）
- c 参加者 27名（企業10社、支援機関6社）
- d 講演内容

題目	講演者
茨城県北地区の外国人材活用状況と課題	センターコーディネーター
高度外国人材の育成と定着に向けて	JETRO 本部
外国人材活用事例の紹介	(株) 堀田電機製作所

6 創業支援事業

(1) 日立創業支援ネットワーク事業【総合戦略】

新規創業の促進及びその後の事業安定化を図るため、創業支援事業計画に基づき日立市、日立商工会議所及び日本政策金融公庫日立支店と連携して、以下の取組を行った。

ア インキュベーション施設を通じた創業支援

- (ア) マイクロ・クリエーション・オフィス(MCO)利用者
- (イ) 創業準備デスク利用者

イ 個別相談会

MCO利用者に加えて地域の創業希望者及び創業間もない者を対象として、専門家による個別相談会を実施した。

- (ア) 期間 令和2年4月～令和3年3月
- (イ) 回数 12回
- (ウ) 相談件数 延べ27件
- (オ) 専門家 (有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一 氏

ウ 連携機関との協力

- (ア) 連絡会議 3回
- (イ) 創業塾(主催:日立商工会議所)
日立地区産業支援センターが講演の一部を担当

エ 事業の成果及び効果

- (ア) 新規に3事業者がMCOに入居した。
- (イ) 関係機関と連携してイベントの企画運営を行うことで、より効果的な内容とすることができた。

7 情報収集発信に関する事業

(1) ホームページ・メールマガジン運営事業

各種事業のPR、公募及びイベント告知のために、ホームページの掲載及びメールマガジンの送信により効率的な情報発信を実施した。

ア 実施内容

- (ア) ホームページ情報掲載数(センターからのお知らせ) 67回(随時更新)
- (イ) メールマガジン発行回数 24回(月2回発行)

イ 事業の成果及び効果

- (ア) ホームページアクセス件数(トップページ) 30,769件
- (イ) メールマガジン登録者数 450名

(2) 企業訪問事業

コロナ禍を受けての経営状況や要望をヒアリングするため、センター職員が日立市内の中小企業を訪問した。センター業務の説明、市の支援施策の紹介を行い、各企業の課題やセンターに対するニーズをヒアリングし、今後の企業支援施策の一助とした。

ア 令和2年9月～11月

イ 訪問企業/訪問予定企業 124社/255社（完了率49%）

ウ 調査内容及び回答

(ア) 約8割の企業がコロナウイルス感染症による経営に対しての影響有りとは回答

(イ) 約3割が受注の回復・確保が課題とは回答

(ウ) センターの活動内容についてはPR不足もあり、事業内容を知らなかった、といった声も聞かれた。今回の訪問はそれらの企業に対してセンターの活動内容をPRする良い機会となった。

8 地域交流に関する事業

(1) 地域交流講演会開催事業（スーパーヒットクラブ）

地域の特徴的な企業の見学会を開催し、中小企業関係者が、新たな交流とビジネスのヒントを発見する機会を創出するための取組みである。コロナ禍ということもあり、従来行っていた講演会や工場見学会ができなかったため、初のオンライン講演会を開催した。

ア 開催日及び内容等

開催日	内 容	参加者数
令和3年 3月17日	事業構造を変える「東京下町・町工場の挑戦」 講師：株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO 浜野 慶一氏	41名

イ 事業の成果及び効果

先進的な取り組みを行っている企業の講演会を企画し、地域内企業のイノベーション機運醸成に寄与した。

II. 公共施設の管理

日立地区産業支援センターの管理を実施した。

1 利用状況

(1) 利用件数：1,049件

(2) 利用者数：6,507名

(3) 使用料収入：2,872,150円

(4) 目的別利用状況

使用目的	区分			
	件数 (件)	比率 (%)	人数 (名)	比率 (%)
見学	17	1.6	33	0.5

会議	432	41.2	5,505	84.6
機器利用	137	13.1	292	4.5
相談	190	18.1	252	3.9
情報交換・打合せ	138	13.2	173	2.7
その他	135	12.8	252	3.8
合計	1,049	100.0	6,507	100.0

2 修繕等の状況

機器の修繕を実施した。

III. 組織

1 役員等

令和3年3月31日現在

役職名	現員数	備考
評議員	7	
理事	7	理事長 1名 副理事長 1名 常務理事 1名
監事	2	

2 職員

令和3年3月31日現在

常勤職員	非常勤職員	日立市 派遣職員	委嘱職員	合計
7	9	3	3	22

IV. 理事会・評議員会

会議名	開催日又は決議があったものとみなされた日	案件
令和2年第2回 通常理事会	令和2年 5月20日	議案第5号 令和元年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告及び決算について 議案第6号 公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算 議案第7号 令和2年定時評議員会の開催について

		報告第2号 業務執行理事の職務執行状況について
令和2年 定時評議員会	6月26日	議案第3号 令和元年度公益財団法人日立地区産業支援センター決算について 報告第1号 令和元年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告について
令和2年第2回 臨時理事会	8月21日	議案第8号 令和2年第2回臨時評議員会の開催について
令和2年第2回 臨時評議員会	8月31日	議案第4号 評議員の選任について 議案第5号 監事の選任について
令和3年第1回 通常理事会	令和3年 2月16日	議案第1号 令和3年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業計画及び収支予算について 議案第2号 公益財団法人日立地区産業支援センターの給与制度の改定等に伴う関係規程の整理に関する規程の制定について 議案第3号 公益財団法人日立地区産業支援センター職員退職金規程の制定について 報告第1号 業務執行理事の職務執行状況について
令和3年第1回 臨時理事会	3月29日	議案第4号 令和3年第1回臨時評議員会の開催について 議案第5号 事務局長の選任について
令和3年第1回 臨時評議員会	3月30日	議案第1号 評議員の選任について 議案第2号 理事の選任について 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 理事の選任について